

503) サリン事件

サリン事件があった頃、地下鉄の乗客が減る傾向にあった。事件が地下鉄の駅構内で起こったのと、換気がよくないことから犠牲者が広がったためである。このため乗客は新鮮な大気と何時でも交換できる、地上の電車に乗ろうとしたためであった。そんなある日地下鉄電車内で、異様なニオイが発生した。すると誰かが『サリン?』と小声で言った途端、社内はパニック状態に陥った。しかし次第に匂いが薄くなるにつれて冷静さを取り戻して、パニックは収まりかけてきた。すると1人の勇気ある男が口を切った。「皆さん大変ご迷惑をおかけして申し訳ありません。今のはサリンガスではなく、私が発射したメタンガスでして人畜無害です。…え～私のオナラでした。」車内に再びどよめきが走り、やがてこの勇気ある男への拍手に変わった。